

平成25年度 坂出市教育委員会点検・評価報告書

平成26年7月29日  
坂出市教育委員会

## I. 目的及び制度の概要

教育行政の効果的推進と市民への説明責任を果たすため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定に基づき、教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価を行うものであり、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表するものです。

## II. 点検・評価の方法

平成25年度における教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検・評価を実施いたしました。この点検・評価に際しては、学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「坂出市教育評価委員会」を平成26年7月29日に開催しました。

## III. 教育委員会活動の概要

坂出市教育委員会では主体的で市民に信頼され開かれた教育委員会を目指し、平成25年度において以下の活動を行いました。

### 1. 委員構成

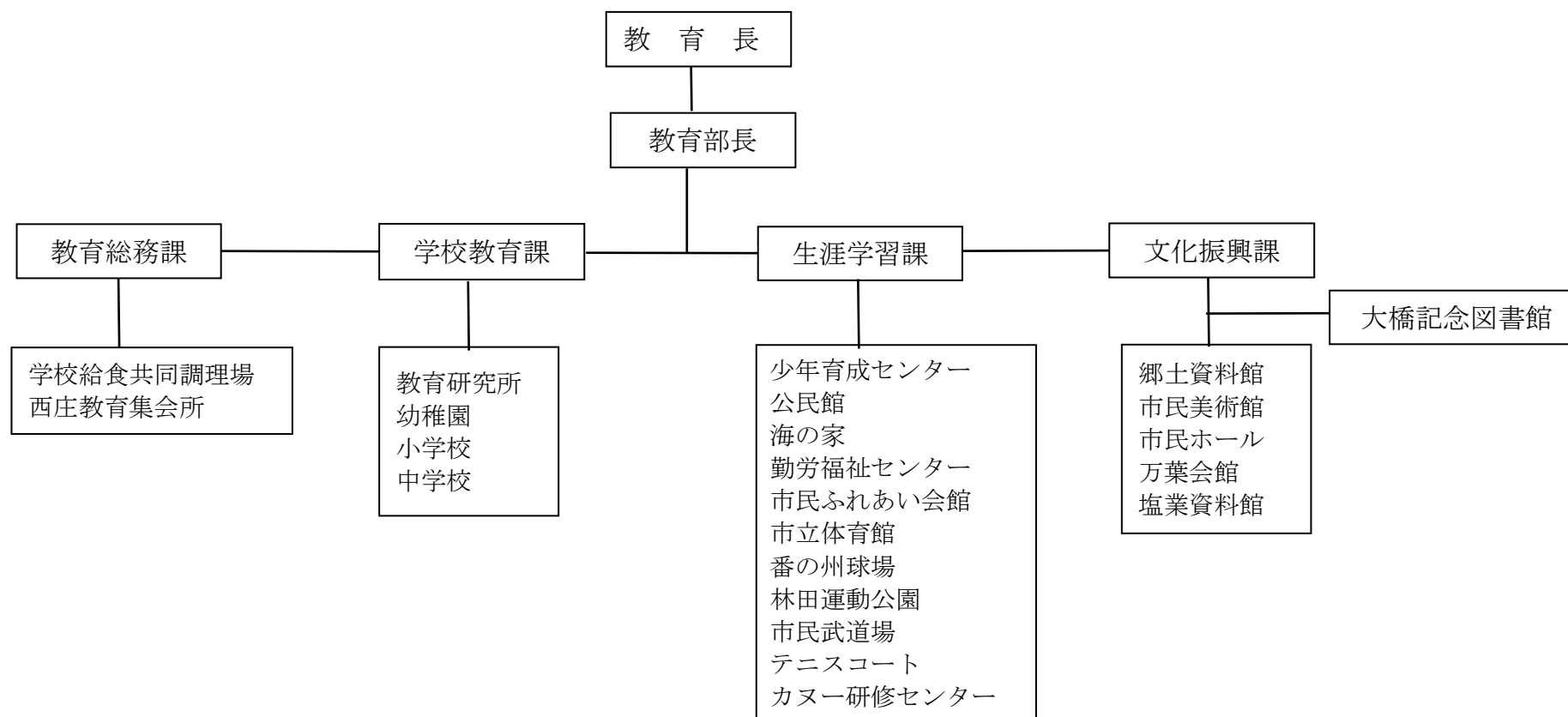
地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第5項の規定により教育委員に保護者が含まれるようにすることが義務付けされ、平成20年9月29日に坂出市教育委員会委員の定数に関する条例を定め、委員定数を5名から6名としましたが、平成21年12月31日をもって2人の委員が任期満了を迎えるに当たり、後任委員を検討する中で新たに選任する委員を1名とし、平成22年1月1日に坂出市教育委員会委員の定数に関する条例を廃止して法定数の5名にいたしました。平成25年6月定例教育委員会において、澤井静芳氏を教育委員長に、斉藤恵子氏を委員長職務代理者に再任しました。平成26年3月31日現在の委員構成は次のとおりです。

坂出市教育委員会		
委員長	澤井	静芳
委員長職務代理者	斉藤	恵子
委員	高尾	正彦
委員	中橋	孝彦
教育長	三好	康弘

## 2. 教育委員会事務局の組織

多様化する教育行政の中で、迅速で効率的かつ実効性のある教育委員会事務局の運営を遂行していくため、平成24年4月1日に教育委員会の組織機構を改編しました。

その内容はまず、複雑多様化する教育課題および組織規模の適正化などの組織上の課題に適切に対処するため、学校教育課を学校教育課と教育総務課に分割・再編しました。また、社会教育課の社会教育部門と体育課を生涯学習課に集約し、社会教育課の文化財および文化振興部門と大橋記念図書館・美術館などの文化施設等を集約し、文化振興課としました。



## 3. 教育委員会会議の開催状況

会議は、原則として毎月1回定例会を、また必要に応じて臨時会を開催しており、平成25年度は合計13回開催いたしました。

教育委員会定例会	12回開催	議案96件	報告27件
教育委員会臨時会	1回開催	議案 1件	

#### 4. 教育委員会のその他の活動

##### ①学校訪問

市立幼稚園8園，小学校12校，中学校6校を対象として全て訪問することとしており，5月17日から11月20日の間で全ての校園を訪問しました。

実施月	
5月	松山小学校(17日)，白峰中学校(31日)
6月	東部中学校(3日)，坂出小学校(11日)，加茂幼稚園(26日)，府中幼稚園(28日)
7月	西庄小学校(1日)，坂出中学校(3日)，林田小学校(8日)，瀬居中学校・小学校(10日)
9月	加茂小学校(11日)，府中小学校(13日)，金山小学校(18日)，川津小学校(20日)
10月	林田幼稚園(2日)，岩黒小学校・中学校(3日)，東部小学校(9日)，松山幼稚園(11日)，川津幼稚園(24日)，坂出中央幼稚園(31日)
11月	櫃石幼・小・中学校(20日)

##### ②香川縣市町教育委員会連絡協議会委員研修会

日 時 平成25年10月11日 午後1時30分～4時40分  
場 所 アルファあなぶきホール 4階大会議室 (高松市)  
出席者 委員長・委員2名・教育長  
研修内容 ・学力の向上について  
・講話「教育行政上の当面する課題について-これからの教育委員会制度-」  
文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課長

##### ③市長との懇談会

日 時 平成26年1月7日 午前10時～11時  
場 所 本庁舎2階応接室  
出席者 教育委員長・委員3名・教育長  
懇談内容 平成26年度予算における市長への予算要望・意見書の提出

##### ④視察研修

視察については平成25年より隔年ごととしており，平成26年度に実施予定。

⑤その他教育委員が関わる活動

4月	年度当初校園長会議
5月～6月	幼・小中学校春季運動会
9月	幼・小中学校秋季運動会
10月	幼・小中学校秋季運動会，水のフェスティバルin府中湖 教育功労者表彰
11月	まなとピアフェスティバル
1月	成人式，瀬戸大橋駅伝競走大会
3月	幼稚園卒園式，小中学校卒業式

IV. 重点目標ごとの評価と事業評価の結果

次ページ以降に，項目ごとの各課の取組状況について，重点目標に対する評価と事業評価シートを掲載しています。

●自己評価基準について

区分	評価内容
A (達成)	計画以上の成果が得られた。
B (ほぼ達成)	概ね計画の目標は達成できた。
C (ある程度達成) (課題有り)	課題を残し，目標も十分達成できなかった。
D (達成していない) (課題多い)	課題が多く，具体的成果がなかった。

## 第4次坂出市総合計画施策体系

### 市の将来像

瀬戸内の交流拠点 活力とふれあいの坂出

### まちづくりの基本目標

- 1 ともに担う ～競い合い、助け合うまちづくり～
- 2 ともに守る ～安全で安心なまちづくり～
- 3 ともに支える ～健康で、思いやりあふれるまちづくり～
- 4 ともに育む ～豊かな心と文化のまちづくり～

#### (1) 生涯学習の充実

- ①生涯学習の推進組織の充実 ②グループの育成とリーダーの養成
- ③生涯学習施設の整備 ④図書館活動の充実 ⑤健全な青少年の育成

#### (2) 学校教育の充実

- ①幼児教育の充実 ②幼児教育の環境づくり ③教育内容の充実 ④指導力の向上と指導体制の充実
- ⑤地域との連携強化 ⑥特別支援教育の充実 ⑦教育施設・設備の充実

#### (3) 人権・同和教育の推進

- ①学校教育における人権・同和教育の推進 ②社会教育における人権・同和教育の推進
- ③人権・同和教育指導者の育成

#### (4) 文化・スポーツの振興

- ①芸術・文化活動の振興 ②文化財を生かしたまちづくり ③スポーツの振興

#### (5) 国際交流の推進

- 5 ともに築く ～なごみとゆとりを感じるまちづくり～
- 6 ともに興す ～地域の特性と資源を生かしたまちづくり～

(1) 生涯学習の充実

① 生涯学習の推進組織の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己評価	委員評価	今後の方向性
1	女性セミナー	生涯学習課	高齢化社会を迎える中で、長くなった人生を自分らしく豊かにいかに生きるかについて、学習する場を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「福祉落語家誕生記」</li> <li>・「認知症とは？～その予防と関わり方について～」</li> <li>・「包んで 結んで 包まれて」</li> <li>・「たった一度の人生だから・・・」</li> <li>・「カラーでコミュニケーション～色は言の葉～」</li> <li>・「しあわせ獅子合わせ」</li> <li>・「歴史を学ぼう～泣き笑い！万葉集の恋人たち」</li> <li>・「暑さに負けないで体を動かそう」(3B体操)</li> </ul> ※計 講演8回, 現地学習2回 合計10回	A	A	充実 参加者は年々増加傾向にあり、事業開催に支障をきたすことも予測されるが、参加希望者の期待に応えられるよう内容等の更なる充実を図っていく。
2	中央公民館市民講座	生涯学習課	生涯学習を充実させることによって、市民が学ぶ喜びを感じられるような場を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとの民謡：566名</li> <li>・漢字書道：619名</li> <li>・リトミック：234名 ・女性料理：436名</li> <li>・男性料理：454名 ・ヨガ：188名</li> <li>・籐工芸：110名 ・げんだい書：271名</li> <li>・水墨画：152名 ・山野草：318名</li> <li>・陶芸：291名</li> </ul> ※計：3,639名 前・後期各11回開催し、1講座50,000円の報酬及び料理の講師助手には、40,000円の報酬を支出(講師との区別)	A	A	充実 中央公民館はイオンへ移転し3年を経過した。駐車場が利用しやすいなど、受講者は増加をしている。受講者のニーズを把握する中で、新たな講座を追加するなど、今後も講座の充実を図っていく。

3	働く女性の家講座	生涯学習課	<p>働く女性を対象に，女性のたしなみと教養など資質の向上を図ることを目的とした学習の場を提供する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハーブ：160名</li> <li>・ちぎり絵：445名</li> <li>・手編み：93名</li> <li>・煎茶と礼法：102名</li> <li>・エアロビクス，ヨーガストレッチ：626名</li> <li>・カントリークラフト：134名</li> <li>・着装とマナー：149名</li> <li>・英会話：158名</li> <li>・フォークダンス：179名</li> <li>・フラダンス：241名</li> </ul> <p>※全部で10講座となり，前期と後期の延べ受講者数 2,287名。 講師料 1 講座50,000円×20講座，一日講座 5,000円×3回</p>	A	A	<p>充実</p> <p>各講座の内容については，広く学習の場の提供はできている。しかし，各講座は長期間開催されてきているものが多く，今後は既存講座の内容の見直しや，新たな講座を追加するなど充実を図っていく。</p>
---	----------	-------	--	---	---	---	--



② グループの育成とリーダーの養成

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己評価	委員評価	今後の方向性
4	婦人団体育成	生涯学習課	婦人団体連絡協議会の目的は、女性の教養を高め、生活の刷新をはかるとともに地域社会の発展と福祉を増進するとともに、あわせて会員相互の親睦を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 婦人団体指導者研修会（芸術祭見学）</li> <li>・ 各地区における子どもやお年寄りの見守り</li> <li>・ 生活文化展</li> <li>・ 地区敬老会 ・ 日赤活動</li> <li>・ 市の行事の手伝い</li> </ul> ※その他数多くのボランティア活動	A	A	充実  市最大の女性の団体であり、市の行事や研修会、また、市における協議会の代表として、幅広く活躍している。しかし、年々会員数は減少しており、今後も組織の育成支援を検討していく。

③ 生涯学習施設の整備

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己評価	委員評価	今後の方向性
5	図書館施設整備事業	文化振興課 図書館	すべての人が安心安全に図書館を利用しやすいように施設の整備を行う。	施設全体の維持管理を行う。 利用者用のインターネット端末等、更新が必要な機器を計画的に買い替える。	B	B	充実  耐震診断工事の結果、建物の耐震安全性が確認された。しかし、非構造物の耐震性で指摘されたところもあり、今後緊急性のあるところから改善を図っていく。 また、先進的な電子機器等近代的な視聴覚機材の導入を検討していく。

④ 図書館活動の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己評価	委員評価	今後の方向性
6	資料収集事業	文化振興課 図書館	いつでも、どこでも、誰でもが、暮らしに役立つ様々な情報提供サービスを受けられるようにするとともに、本と人、人と人が出会うことで地域のコミュニティを活性化し、市民の行政参加を促進し、本を仲立ちにした子育て支援やまちづくりに役立てる。	地域の情報拠点として、多様な市民の要求に応えられるように図書、記録、その他必要な資料を収集し、整理し、保存に努める。特に地域資料や行政資料に関しては、郷土資料として積極的に収集し、永久保存する。	A	A	充実 多様な市民の要求に応えられるように図書、記録、その他必要な資料を収集し、整理保存に努めていく。
7	情報提供事業	文化振興課 図書館	いつでも、どこでも、誰でもが、暮らしに役立つ様々な情報提供サービスを受けられるようにするとともに、本と人、人と人が出会うことで地域のコミュニティを活性化し、市民の行政参加を促進し、本を仲立ちにした子育て支援やまちづくりに役立てる。	様々な機関と連携して、幅広い情報提供を行う。 特集コーナーを設けて、利用者が選びやすい資料展示を行う。	A	A	充実 関係機関等と連携し、相互貸借等を活用する等充実に努めていく。
8	広報・啓発事業	文化振興課 図書館	すべての人を対象に図書館を知ってもらうための広報活動を行う。パネル展示や行事と共に、読書活動の啓発につなげる。	新聞、テレビ、ラジオ等のマスコミを利用して、図書館のアピールに努める。関係機関との連携等、様々な方法により情報提供を行う。ボランティアと連携して行事を開催すると共に、ボランティアの資質向上のための養成講座を行う。	A	A	充実 ホームページの充実を図り、市民にわかりやすく情報を提供できるよう努めていく。
9	子ども読書活動推進事業	文化振興課 図書館	すべての子どもが、いつでも、どこでも本と接することができる環境整備を行う。行事を開催することで、子どもと本を結びつける。子どもの成長に関わる、様々な人や組織が連携して読書活動の推進に努める。	坂出市子ども読書活動推進計画に基づき、学校や関連部署と連携しながら、子どもの読書機会の提供、保護者への啓発活動を行う。計画の期間は、平成23年から27までの5年間。	A	A	充実 ボランティア活動と連携した行事等の充実を図り、市民参加の図書館づくりに努めていく。
10	学校連携事業	文化振興課 図書館	各学校及び公共図書館の資料の有効活用を図る。	公共図書館と連携した学校図書館の機能強化支援及び司書教諭や担任と共同した学校図書館の活用に関する支援を行う。	B	A	充実 支援校の拡充を図り、学習資料の有効活用と効率的な予算活用に努めていく。

⑤ 健全な青少年の育成

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己評価	委員評価	今後の方向性
11	放課後子ども教室推進事業	教育総務課	小学校において、放課後や週末に小学校や地域の公民館などを活用して、子どもたちの安全・安心な居場所を設けるとともに、地域の方々の参画を得て、子どもたちと地域住民との交流活動の取り組みを実施することで、心豊かな育成環境づくりの推進を図る。	運営委員会において内容を検討し、小学校の全学年を対象とした「居場所づくり」として、金山校区で実施した。	A	A	充実 現在実施している金山地区の事業の継続とともに、新たな地区での活動に向けた検討をしていく。
12	放課後児童健全育成事業（仲よし教室）	教育総務課	保護者が労働等により昼間家庭にいない、小学校に就学している1年生から3年生及び弟妹が仲よし教室に通う4年生までの児童に対し、放課後等に適切な遊び・生活の場を確保することにより、児童の健全な育成と子育て支援の充実を図る。	昭和48年度、旧西部小学校に設置して以来、順次、設置校を拡大し、現在では、8校において11教室を開室している。 また、平成23年度からは、保護者のアンケート調査結果をもとに、利用時間を延長するとともに、受益と負担の在り方や他市の動向を総合的に勘案し、有料化した。	A	A	充実 子ども・子育て支援新制度を受けて、今後も適正な指導員、支援員の配置、教室の環境整備を図っていく。
13	わくわく！さかいでっこ探けん隊	生涯学習課	土曜日（休日）の過ごし方の一つとして、子どもたちと親に学習の場や共に汗を流す場を提供する。他の学校へ通う子どもたちとの出会いもあり、学校とはまた違う体験ができ、新たなものへの知識欲、人への思いやり、郷土愛など身につけることをねらいとする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わくわく！科学教室</li> <li>・わくわく！おこづかいゲーム</li> <li>・工作教室</li> <li>・瀬戸内国際芸術祭探検</li> <li>・豊島・女木島探検</li> <li>・料理教室</li> <li>・ちぎり絵教室</li> <li>・ニュースポーツ教室</li> </ul> ※その他全17講座（前期4回、夏休み6回、秋期4回、後期3回）	A	A	充実 学校ではできない体験ができるとの多くの意見もあり、今後も変化に富んだ講座内容を創意工夫し充実を図っていく。
14	坂出市成人式	生涯学習課	大人になったことを自覚し、自ら生きぬこうとする青年を祝い励ますとともに、青年が社会のために尽くそうとする考えを持ってもらうとの趣旨から成人式を行なう。	毎年成人の日にて市民ホールにて開催。式は祭典と式典に分かれており各地区から成人代表（12名）が作り上げるはたちの祭典では、幼少期からのスライド映像と中学校時代の恩師からのメッセージを上映する。また式典では、市長・議長・国会議員・県会議員からのお祝いのことば、記念品贈呈、成人のことばなどを行う。	A	A	充実 今後も、成人代表が「はたちの祭典」を作り上げ、成人式が心に残るものとなるよう努めていく。

15	補導活動事業	生涯学習課	青少年の健全育成が図れるよう補導活動に努める。	補導員による街頭補導，地域補導等の活動を関係団体と連携・協力しながら青少年の非行防止と健全育成に努めた。	B	B	充実 様々な問題行動等の実態把握に努め，情報の共有化を図り，補導員等による街頭補導を推進強化すると共に，相談・支援態勢を充実し，青少年の健全育成に努める。
16	さかいでっこガイド隊	生涯学習課	ふるさと「さかいで」に愛着を持ち，自ら情報を発信できる「さかいでっこ」をめざす。今年度は「城山」について学習し，坂出に残っている史跡を回り，子どもたちの目線でツアーに訪れる人たちにガイドをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「城山の史跡および菅原道真」について勉強する。</li> <li>・ガイドの台本を作る</li> <li>・「城山長者」の紙芝居を作る</li> <li>・「城山長者ツアー」を開催しガイドをする（4回）</li> <li>・観月会において「城山長者」の紙芝居をする</li> <li>・高松市屋島で開催された「源平合戦絵巻」に出場する</li> <li>・ガイド隊員 13人</li> </ul>	A	A	充実 学校ではできない体験ができ，人が喜んでくれることを知ることができることから，自らふるさと情報を発信できる「さかいでっこ」を目指し，責任感をもって取り組んでいく。
17	子ども会育成	生涯学習課	少子化や地域社会のつながりの希薄化のなか，子ども会行事を通じて，地域で異年齢の子どもたちが一緒に遊ぶなど，楽しい子ども会行事を通じて，地域に愛着をもち，誇りに思う子どもの育成を行う。	<p>地域で異年齢の子どもたちが一緒に遊ぶ場を提供するとともに，地域の伝統行事などに子ども会活動を通じて参加する。</p> <p>ゆめ活動委託料・花いっぱい運動委託料・市子連活動補助金・校区子ども会活動補助金・指導者講習会補助金・ふるさとの親子まつり補助金・ドッジボール大会補助金・わんぱくゲーム大会補助金</p>	B	B	充実 子ども会加入率の低下が進むなか，従来の行事の見直しを図り，現状に即した子ども会運営を行い，魅力ある子ども会を目指す。

(2) 学校教育の充実

① 幼稚園教育の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己評価	委員評価	今後の方向性
18	絵本に親しみ豊かな心をはぐくむ取り組み (保育方法の改善と教員の資質向上)	学校教育課	幼児期から読書習慣を形成することで、生涯にわたっての学習の基盤となる主体性や想像力、知的好奇心や言葉による表現力をはぐくむ。	幼児の豊かな情操や言葉をはぐくむために、指導計画の中に位置付け、絵本・図鑑・お話等に親しむことができるよう指導方法の改善に努める。	A	A	充実  絵本は、幼児の豊かな情操と感性を育むことのできる大切な教材であることから、引き続き各園において充実を図っていく。

② 幼児教育の環境づくり

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己評価	委員評価	今後の方向性
19	幼児ふれあい茶道教室 (家庭や地域と連携した園づくり)	学校教育課	故大石キヨ子先生の遺志を受け、幼児が日本の伝統文化である茶道に親しみながら、茶道作法や情操を養う。	「幼児ふれあい茶道教室」として開催し、坂出市内の幼稚園5歳児が坂出市民ふれあい会館において、淡交会の指導による茶会を体験する。 各園において、地域の茶道の指導者を招き、茶道に親しむ機会をもつ。	A	A	継続  日本の伝統文化を体験することのできる貴重な機会となることから、これからも継承していく。
20	幼稚園評価の公表と保護者・地域との連携の工夫と改善 (家庭や地域と連携した園づくり)	学校教育課	保護者や地域との連携を図りながら、地域社会に開かれた信頼される園づくりに努める。教職員の自己評価や保護者や学校関係者評価委員による評価を活かし、園経営の改善を行う。	教職員の自己評価や保護者アンケート（保育参観・運動会・生活発表会等について）での評価、学校関係者評価委員の評価や指導助言から、危機管理や環境整備・保育内容の改善を行う。 家庭や地域への通信（園便り・学級便り等）の発信方法や内容を工夫して、保護者・地域連携を密にする。	A	A	充実  学校関係者評価委員会の定着と機能強化を一層図っていくことで、家庭や地域と連携した園づくりを目指す。

21	子ども発達支援事業	学校教育課	<p>幼児の健やかな成長や発達を促すとともに保護者が安心して子育てができるように、乳幼児期から就学までの健診や子育て相談の一環として学校教育課・こども課・けんこう課が連携して実施し、子育て支援の充実を図る。</p>	<p>健診スタッフが坂出市内の幼稚園・保育所の4歳児学級を訪問し、一次健診（集団行動観察・個別健診・保護者面談）を行い、その結果について各園所と協議、報告を行う。 必要に応じて巡回相談や二次健診を実施する。保護者へ発達に応じた支援のアドバイスや子育て相談、関係機関等の紹介を行うとともに、園の保育環境や支援のフォローに努める。</p>	A	A	<p>充実 臨床心理士による子育て相談等の活動を充実させる。</p>
----	-----------	-------	---	---	---	---	--

③ 教育内容の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己評価	委員評価	今後の方向性
22	心をはぐくむ講師派遣事業 (志をはぐくむ教育の充実)	学校教育課	社会の様々な分野で活躍している著名人を学校に招いて講演会を開くことで、児童生徒がその生き方に学び、具体的な自分の夢や志を考えるきっかけとする。	市内10校に講師を派遣し、講演会を開いた。 瀬居中学校 NPO法人理事長 加茂小学校 NPO法人理事長 櫃石中学校 製パン会社代表 岩黒小中学校 県伝統工芸士 川津小学校 プロ球団トレーナー 林田小学校 新聞記者・編集長 坂出中学校 プロサッカーチーム監督 松山小学校 ソプラノ歌手 府中小学校 サヌカイト石琴演奏家	A	A	充実 事業目的にふさわしい講師を選任し、講演会の持ち方を工夫する。
23	「志をはぐくむ」読み物資料作成 (志をはぐくむ教育の充実)	学校教育課	「先人・偉人の生き方に学ぶ活動」を具現化するため、郷土の発展に貢献した人物の、志の高い生き方を読み物資料として各学年1話を作成し、市内公立小中学校の全児童生徒に配付する。 また、9話を1冊にまとめ、小中学校や、図書館に配布する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み物資料編集委員会 (年間3回：小中学校管理職3名)</li> <li>・【小学生用】 ①久米栄左衛門、②山田兼松、③花岡タネ、④杉田秀夫、⑤古川庄八、⑥津島寿一</li> <li>・【中学生用】 ⑦久米栄左衛門通賢、⑧鎌田勝太郎、⑨杉田秀夫</li> <li>・監修委員会開催 (年間2回：元教員等4名)</li> <li>・読み物資料配付 (市内小中学校全児童生徒)</li> <li>・合冊本配布 (市内小中学校)</li> </ul>	A	A	充実 道徳の授業等で積極的に活用を図るとともに、家庭や地域との連携を深める。
24	さかいで・まんのう算数・数学オリンピック (志をはぐくむ教育の充実)	学校教育課	児童生徒の算数・数学に対する興味・関心を喚起し、学習意欲を高める。 考える楽しさを体験し、主体的に学ぼうとする態度を育成する。 既習の知識、技能を活用して問題を解決することで、思考力・表現力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会開催 (年間3回：学識経験者、保護者、小中学校長会等)</li> <li>・問題作成委員会開催 (年間10回：小中学校教員15名)</li> <li>・オリンピック実施 (H25.7.28 坂出中学校)</li> <li>・参加記念バッジを参加者全員に配布</li> <li>・表彰式、解説の会 (H25.8.25 勤労福祉センター)</li> <li>・金銀銅メダル、優秀賞、エリート賞、アイト賞、ユニーク賞 44名</li> </ul>	A	A	充実 参加地域の広がりに伴い、より多くの児童生徒が算数・数学の楽しさを味わえるような問題作成に努める。 暑い時期の開催であり、熱中症への対策を十分に行う。

25	学校給食事業	教育総務課	<p>市内の学校給食事業の充実，発展及びその適正な運営に資するため，予算の範囲内で補助金を学校給食会に交付し，学校教育の円滑な推進に寄与することを目的とする。</p>	<p>下記事業に対して補助金を交付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理費補助・・・給食会職員の人件費及び事務所の運営経費</li> <li>・運営費補助・・・平成20年度より給食場の燃料費及び洗剤費の補助</li> <li>・その他・・・食材の共同購入及び燃料業者からの見積合わせを実施</li> </ul>	A	A	<p>充実</p> <p>健全な経営のための補助を継続していくとともに，給食現場においては，異物混入の防止に努め，児童・生徒への安心・安全でおいしい給食の提供に努めていく。</p>
----	--------	-------	---	--	---	---	--



④ 指導力の向上と指導体制の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己評価	委員評価	今後の方向性
26	問題行動への対策 (人格形成と規範意識の涵養)	学校教育課	不登校, いじめ, 暴力行為等の問題行動や虐待, 体罰の未然防止や早期発見, 早期解決を図る。	市内全小中学校にスクールカウンセラーを配置し, 小中が連携して, 児童生徒, 保護者, 教員の教育相談の充実を図ることで不登校を減少する。 いじめについては, 定期的なアンケート実施と, 教員による観察を強化し, 未然防止に努める。 虐待については早期発見とともに, 関係機関との連携を図った早期対応を図り, ケース会を開くなど, 見守りを継続する。	A	A	充実  いじめについては, 未然防止, 早期発見, 早期対応に努める。 また, S S Wの配置を充実し, 問題行動や虐待の対応について, 関係機関との連携を図る。
27	魅力ある学校づくり調査研究事業	学校教育課	坂出中学校とその校区内の小学校が国立教育政策研究所の委託を受け, 新たな不登校の未然防止をめざし, 「魅力ある学校」をつくるための連携を図った取組みを推進する。 児童生徒の意識調査の変容から取組みの成果とその課題を見出し, 検証, 改善を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>拠点校: 坂出中学校, 連携校: 坂出小学校, 金山小学校, 川津小学校</li> <li>実施計画書提出 (4月), 意識調査 (5月, 11月)</li> <li>連絡協議会 (東京) (4/24, 2/14), ブロック協議会 (高松) (10/31, 11/1)</li> <li>小中連絡協議会 (年間10回), 調査研究委員会 (年間3回)</li> <li>国研の学校訪問 (7/4), 4校合同研修会 (8/5)</li> <li>校区内研究会 (各校1回)</li> <li>香川の教育づくり発表会 (12/26), リーフレット作成, 配付 (1月)</li> <li>実績報告書提出 (3月)</li> </ul>	A	A	廃止  国立教育政策研究所の委託期間終了のため。

28	教育研究所の研究・研修事業 (信頼される学校づくり)	学校教育課	<p>新学習指導要領の理念に則し、教育研究所の部会ごとに理論・実践の両面から研究することで、本市の学校教育の充実・発展に、また、教職員の資質向上に資する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校人権・同和教育啓発資料作成部会 人権・同和教育資料「心」と「実践資料集」の改訂</li> <li>・不登校・特別支援教育部会 「フレンドシップ夏の集い、クリスマス の集い」の実施 不登校対策教育支援センター「であいの 部屋」「ふれあいの部屋」</li> <li>・ICT活用部会 学校校務の情報化及び校務の能率化の提 案</li> <li>・学校教育課題部会 全国学力学習状況調査結果の活用と授業 の活性化の研究</li> <li>・幼稚園教育部会 防災・不審者対応教材「いのちをまもる カレンダー」作成</li> </ul>	A	A	<p>充実</p> <p>研究内容を精選するとともに、研究の成果の活用を工夫する。</p>
29	学校関係者評価委員会・学校経営支援委員会 (信頼される学校づくり)	学校教育課	<p>各学校の学校評価（自己評価と学校関係者評価）について、専門的、客観的立場から評価し、指導・助言を行うことで、各校の学校運営の充実に資する。</p>	<p>各学校で管理職等による校内評価委員会は「自己評価書」を作成し、保護者及び学校関係者からなる学校関係者評価委員会に提出する。学校関係者評価委員会での協議を基に学校が作成した「学校評価書」について、学校経営支援委員会を開き、学識経験者、保護者4名が第三者評価を行い、その助言・指導を各校の学校運営の充実に資する。</p>	B	B	<p>充実</p> <p>学校経営支援委員会の活用の仕方を工夫し、学校運営の活性化を図っていく。</p>

30	人的支援体制の充実	学校教育課	<p>一人一人の子どもの実態に応じたきめ細かい指導を行い、学校生活の安定と基礎的・基本的内容の確実な定着を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語指導助手 小学校外国語活動，中学校英語の授業にネイティブを指導助手として市内全小学校5，6年生全学級に月2h，市内全中学校全学級に月1h配置</li> <li>・生徒指導補助員 中学生の暴力行為の未然防止，早期発見・早期対応のために，3中学校に2名の生徒指導補助員を配置</li> <li>・不登校対策支援センター 坂出中学校に「ふれあいの部屋」，白峰中学校に「であいの部屋」を置き，2名の職員を配置</li> <li>・理科観察実験アシスタント 小学3年生以上の理科の実験用具の準備，理科室の整備等，理科の授業を充実するため，小学校6校に理科観察実験アシスタントを配置（のべ450h）</li> </ul>	B	B	<p>充実</p> <p>ALTや生徒指導補助員等の配置人数や配置時間の拡大を図り，学校教育の充実を図る。</p>
----	-----------	-------	--	---	---	---	---

⑤ 地域との連携強化

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己評価	委員評価	今後の方向性
31	家庭・地域との連携と啓発	学校教育課	各学校園の教育活動や情報提供を広く保護者や地域に発信し、学校教育に対する理解・協力を得るとともに、地域の人材を学校教育に活用し、学習の深化、安全確保、環境整備等、学校教育の充実を図る。	園や学校の実情に応じて、保護者や地域関係者の教育活動への参加協力依頼を積極的に行う。 保育・授業参観 1日または半日のフリー参観を実施（全幼小中）、教育活動への保護者参加も工夫 地域ボランティア活用 読み聞かせ、グロスタティーチャー、見守り・パトロール・交通指導等、環境整備など 広報活動 学校だより、アンケート調査、ホームページ開設、メール配信	B	B	充実 学校支援ボランティアコーディネーターを配置し、地域との連携・協力体制を整える

⑥ 特別支援教育の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己評価	委員評価	今後の方向性
32	特別支援教育支援員の拡充	学校教育課	一人一人の子どもの実態に応じたきめ細かい指導を行い、学校生活の安定と基礎的・基本的内容の確実な定着を図る。	特別支援学級及び通常学級に在籍する特別な支援を要する児童生徒に対し、特別支援教育支援員を配置している。 研修を実施（小・中・年間3回、幼稚園4回）している。	A	A	充実 特別な支援を要する児童生徒は年を追うごとにその数が増加している。複数配置校を増やすなど、配置人数を見直し、きめ細かに対応していきたい。

⑦ 教育施設・設備の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己評価	委員評価	今後の方向性
33	小児生活習慣病対策事業	学校教育課	近年，増加傾向にある小児期の肥満及び肥満に起因する生活習慣病の早期発見及び予防を目的とする。	市内市立小学校4年生全児童を対象に，小児生活習慣病予防健診の血液検査を実施し，当該検査結果を保護者及び学校に通知することで児童の生活習慣の見直しおよび改善指導に結びつけてゆく。	A	A	充実 児童及び保護者に対し，小児生活習慣病の予防及び対策について一定の成果が得られていることから，引き続き実施していきたい。
34	幼・小・中学校施設整備事業（建設工事）	教育総務課	学校施設は，子ども達の活動の場であるとともに，災害時には地域住民の避難場所としての役割も担うことから，耐震化を図り安全性を確保する。また，近年の猛暑への対応のため，普通教室に空調設備を完備していたが，25年度には特別教室にも設置し教育環境の充実を図った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調設備整備工事（特別教室）</li> <li>・非構造部材耐震化工事（H24～）</li> <li>・プール改修工事</li> <li>・便所改修工事</li> </ul>	B	B	充実 非構造部材の耐震化を継続していくとともに，老朽化したプールをはじめとした施設の整備を計画的に進めていく。
35	幼・小・中学校施設整備事業（維持修繕工事）	教育総務課	学校施設利用者（園児・児童・生徒・教職員）の安全で安心な環境の確保を図る。	学校施設（建物及び外構等施設）の整備，維持修繕及び改修を行う。	C	C	充実 児童・生徒の安全を第一に，学校施設の安全・安心な環境確保に努めていく。
36	私立学校振興事業	教育総務課	私立学校の教育条件の維持及び向上並びに私立学校に在学する幼児，児童，生徒又は学生に係る修学上の経済的負担の軽減を図るとともに，私立学校の経営の健全性を高め，もって私立学校の健全な発達に資する。	坂出市内に私立学校を設置している学校法人真利学園（ルンビニ幼稚園）及び学校法人花岡学園（坂出第一高校，一高幼稚園）に対し，私立学校振興補助金を交付する。	A	A	継続 私立学校の健全な経営と発展のため，今後も補助金を継続していく。
37	幼・小・中学校運営費	教育総務課	幼・小・中学校の円滑な運営に資するため，必要な予算措置を行う。	幼・小・中学校の電気料金，水道料金等の光熱水費のほかに，消耗品，備品，設備の軽微な修繕等，学校運営に必要な経費を支出する。	A	A	充実 消費税上昇による公共料金等の値上げが予想されるが，運営費は学校運営には不可欠であることから，必要な予算確保に努めていく。

38	教材・備品整備事業	教育総務課	小・中学校を対象に、授業等に必要な教材の充実を図る。	児童・生徒の教育効果を高め、基礎的・基本的な学習理解の補助のため、標本や実験器具などの授業等に必要な教材の整備を行う。	A	A	充実 小・中学校長会とも連携して、児童・生徒の学習環境の充実をこれからも図っていく。
39	通学・通園助成事業	教育総務課	幼・小・中学校に通園、通学する園児・児童・生徒を持つ保護者の経済的負担の軽減と利便性の向上を図る。	①白峰中学校通学用自動車運行業務委託（府中地区） ②白峰中学校通学用バス定期券交付（王越地区） ③松山小学校通学用自動車運行業務委託（王越地区）(1,2年) ④松山小学校通学用バス定期券交付（王越地区）(3～6年) ⑤沙弥島児童生徒通学助成金 ⑥与島町児童生徒通学費補助金 ⑦坂出中央幼稚園通園用自動車運行業務委託（西部・中央・金山・西庄地区）	A	A	継続 遠方から通う園児・児童・生徒の安全な登下校の確保とともに、保護者の経済的負担の軽減のため、今後も事業を継続していく。
40	学校再編整備事業	教育総務課	次代を担う子ども達の教育効果を第一に考え、最適規模の学習集団を編成し、学校が学校として最大限の機能を発揮できる教育環境整備を図る。	平成20年12月に策定した坂出市学校再編整備計画に基づき、学校再編整備を推進する。 ・前期計画(概ね5年以内) ①西部・中央・沙弥・瀬居小学校の統合 ②坂出・瀬居・沙弥中学校の統合 ③松山・王越小学校の統合 ・後期計画(概ね10年以内) ①坂出中・東部中の統合	B	B	継続 前期計画の整理を行うとともに、後期計画についても児童・生徒数の動向調査の継続と、保護者、地元の意向を聞くなかで、慎重に進めていく。

(3) 人権・同和教育の推進

① 学校教育における人権・同和教育の推進

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己評価	委員評価	今後の方向性
41	私の考えを語る会 坂出市幼小中園児・児童・生徒の人権展覧会	学校教育課	①私の考えを語る会（昭和56年度～） 市内小中学校の児童・生徒の意見発表の機会を設け交流を図りつつ、人権尊重意識の高揚を目指すことを目的とする。 ②坂出市幼小中園児・児童・生徒の人権展覧会（昭和50年度～） 市内幼小中の園児・児童・生徒の人権展覧会を開催し、人権尊重教育の成果を示すことで人権尊重の市民啓発を図ることを目的とする。	①身近な生活体験を通して、人権あるいは人間の生き方に関する意見を、児童生徒が1題6分以内で発表する。 ②「私の考えを語る会」の開催当日と「人権週間」に合わせて、市民ギャラリー「かもめ」において市内全幼小中および市内4高校（賛助）の、計35校園の作品を展示する。	A	A	継続 引き続き両事業を同一の機会において実施することにより、人権尊重の啓発活動としての相乗効果が期待できる。

② 社会教育における人権・同和教育の推進

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己評価	委員評価	今後の方向性
42	人権学習講座	生涯学習課	人間の尊厳と人権の確立をめざして、家庭・学校教育をはじめとするいろいろな分野での人権問題を解決する手立てを学習する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「同和問題を正しく理解するために」 人権課主幹 堂尾 勇</li> <li>「歴史が語る・人権問題のルーツ」 歴史研究家 上原 敏</li> <li>「家庭における人権同和教育について」 元幼稚園長 三野 孝子</li> <li>「豊かな心とは？家庭のやくわりとは？」 僧侶 瑞田 信弘</li> </ul>	A	A	充実 PTA、婦人会などを対象に年4回開催し、毎回50人～60人の参加がある。講演内容も充実している。今後は人権課との共催として充実を図る。
43	人権・同和教育だより PTA人権・同和教育研修会	学校教育課	①人権・同和教育だより 坂出綾歌ブロックにおける住民を対象に、人権意識の向上を目的として実施する。 ②PTA人権・同和教育研修会 PTAが中心となって人権・同和研修を企画し、保護者参観日に合わせて講演会・研修会を行うことで人権・同和教育に関する啓発を図ることを目的とする。	①坂出市・宇多津町・綾川町の1市2町の人権・同和教育担当者、教員等により内容および構成を検討する。本市においては、12月広報とともに全戸配布している。 ②各校年1回程度、PTAと学校が協力して保護者を対象とした研修会を企画・実施するために必要な講師料、用紙代、印刷費等を予算化し、執行している。	B	B	継続 市民の人権尊重意識の高揚に資する事業内容であることから、引き続き実施していく。なお、PTA人権・同和研修会については参加者の拡充を図っていきたい。

③ 人権・同和教育指導者の育成

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己評価	委員評価	今後の方向性
44	坂出市同和地区教育連絡協議会 幼少中人権・同和教育研修事業	学校教育課	①坂出市同和地区教育連絡協議会 同和地区における幼児・児童・生徒の教育水準の向上を図ることを目的とする。 (昭和56年度～) ②幼少中人権・同和教育研修事業(昭和39年度～) 幼稚園・小学校・中学校の人権・同和教育主任その他の教職員を対象とし、人権・同和教育に関する研修を深めることを目的とする。	①同和地区における幼児・児童・生徒の学習活動の推進に関し、保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校が校種の垣根を越えて連携を図る。 ②幼稚園・小学校・中学校の人権・同和教育主任等を対象に年3回の現地研修、講演、授業・保育研究、各校園の情報交換等を実施する。	A	A	継続 同和地区における幼児・児童・生徒の教育水準の向上を目的とした、教職員のための人権・同和教育研修事業であることから、今後も継続していく。



## (4) 文化・スポーツの振興

## ① 芸術・文化活動の振興

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己評価	委員評価	今後の方向性
45	まなとピアフェスティバル	生涯学習課	生涯学習に関することや人づくり・まちづくりについて学習活動の発表を行う。	生涯学習を通して学んだことを発表するステージ・パネル展示等と生涯学習にふれる各種体験コーナー等を実施する。 11月の第2週日曜日を中心に、坂出駅前ハナミズキ広場・駅周辺・香風園及び周辺・ふれあい会館・中央公民館周辺・美術館・イオンホールで開催。	C	B	充実 毎年、多くの市民の方が参加しているが、生涯学習発表のほかに関連事業等の開催のため、会場が点在しているなど運営面で苦慮していることから、今後は生涯学習発表の場としての原点に戻った見直しを検討していく。
46	市民美術館企画展事業	文化振興課 市民美術館	市民に質の高い芸術・文化に触れ合う機会を提供するとともに、いろいろな展覧会事業を通して市民一人ひとりが豊かな創造力や感性を育み、心にゆとりと潤いを持ち、特色ある地域文化の創造が図れるよう、芸術文化の振興に努める。	①文化力育成に寄与できる全国規模の特別展として染色家で絵本作家の「田島征彦」展。 ②優れた地元作家を顕彰する企画展として写真家の「長田晴雄」展。 ③坂出の再発見をテーマにした公募「さかいでの四季フォトコンテスト」。初めて開催し写真領域が定着。 ④巡回展「現代童画会展」のジュニア部門拡充。保・幼・小に出品を呼びかけ、会期を秋に変更し入館数の増加を図る。 ⑤各種ワークショップ、イベントを通年開催することによって市民の参画意識の向上に努める。	A	A	充実 郷土ゆかりの作家の掘り起こしを図るとともに、年間を通して様々なジャンルの展覧会を展開し、多くの市民の方に本物の芸術に触れていただき、「驚きと感動のある美術館」としてさらに努めていきたい。また、企画展に関連した講演会や、コンサート、ワークショップ、出前美術教室など、「アートに親しみ、感性豊かな未来の人材を育てる活動」も積極的に取り組んでいきたい。
47	万葉企画事業	文化振興課	万葉集にも歌われた沙弥島を舞台に、柿本人麻呂が過ごした時代に思いをはせ、万葉の島 沙弥島に親しんでいただく。また、特色ある地域文化の保存、継承に努める。	地域の伝統文化や芸能等を発展させるため、「万葉まつり」「万葉茶会」の企画事業を開催するとともに貸館事業を行った。特別事業として「万葉文化資料展」を瀬戸内国際芸術祭2013の春会期(H25. 3. 20～H25. 4. 21)に合わせて開催。他にも沙弥島ゆかりの文人である中河与一と親交のあった画家の寄贈作品を展示する「中河与一・山田光造展」を開催した。	A	A	充実 瀬戸内国際芸術祭終了後、来館者が減少しないよう、企画事業を充実しながら施設PRに努めていく。

48	塩業資料館児童校外学習見学事業	文化振興課	坂出の歴史に深く関わった塩田や久米通賢について学んでもらうため、市内の公立小学4年生等を対象に、塩業資料館の学習見学を実施。	塩業資料館オリジナルテキスト（坂出市小学校教育研究会社会科部会に原稿を依頼して作成）を利用し校外学習見学を行う。塩業に詳しい外部講師を招聘しながら子ども達に塩業について学んでもらう。7小学校 296名	B	B	充実 文化振興課の事業の塩業資料館、讃岐国府跡、市内遺跡発掘の3事業を関係機関と連携を取りながら更に充実させていく。
49	塩業資料館流下式塩田復元工事	文化振興課	塩業資料館には入浜式塩田を中心とした資料が多いが流下式塩田は2点しかないため、これを補うために1/2スケールの枝条架を復元し、来館者の増員を図る。	平成25年度は資料館正面北側に、流下式塩田の枝条架支柱を設置した。今後、枝条架に適した笹枝を収集しながら、流下式塩田の復元を行う。	C	C	充実 流下式塩田の枝条架部分の復元だけで、実際に塩が出来なくても、その形状を視覚化することで、来館者によりわかりやすい展示となるように努める。

② 文化財を生かしたまちづくり

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己評価	委員評価	今後の方向性
50	坂出市内遺跡発掘調査事業	文化振興課	坂出市内における遺跡の踏査，土木工事などに先立つ試掘調査および遺跡の範囲確認調査，また工事の際における現場での立会などを行い，貴重な埋蔵文化財を保護する。※本発掘調査は別事業である。	今年度は中世城館として記録されているものの内，4ヶ所を県教委とともに現地踏査し，実態のない3ヶ所の削除，1ヶ所の範囲縮小を行った。 また，讃岐国府跡において確認調査を，川津西又遺跡，与島浦城遺跡（2件），沙弥島（遺跡近隣地），沙弥ナカンダ浜遺跡において工事立会を行い，いずれも埋蔵文化財に支障のないことを確認している。	C	C	充実  讃岐国府跡や開法寺遺跡の整理作業も含めた調査を進める必要もあるため，次年度以降において正規職員（埋蔵文化財専門員）を中心とした人員の充足を財政，人事部局との調整を図りながら要望していく。
51	文化財保護管理活用事業	文化振興課	坂出市内にある指定文化財周辺の管理（主に草刈り）を行うことや，看板を設置すること，市内の文化財所有者や保護団体に，保存，管理，活用に必要な費用を補助することを通じ，貴重な文化財の保護活用に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定文化財周辺除草（千人塚、ササユリ等）</li> <li>文化財周辺の環境整備（内裏泉渡り橋改修）</li> <li>文化財看板設置（加茂文化財案内板改修）</li> <li>指定文化財の保存，管理，活用に対する補助</li> </ul>	B	B	充実  看板については，新たに史跡となった文化財への説明板や，各地区における周辺案内板の設置を優先して進める。 文化財の管理においては，全てを市で直接管理することは現実的でないため，地域における保護団体の育成，支援に重点を置く。
52	讃岐国府跡調査保存活用検討会議	文化振興課	平成25年2月に府中町本村地区に讃岐国府跡の所在が確定したことから，中心施設の可能性の高い遺構の検出や，今後の調査方法や遺跡の保護，また活用等について，調査保存活用検討会議を開催し，国の史跡指定を目指す調査専門部会を組織し，指定に向け具体的に調査内容等の検討を進めながら，今後の讃岐国府跡の保存方法を検討する。	平成26年1月に会議を発足。史跡指定を進めていくため，学識経験者を中心に会議を展開。今後，香川県埋蔵文化財センターと共に専門部会を組織し，発掘成果や今後の調査展開など，国の史跡指定に向けて検討を進める。	C	C	充実  讃岐国府跡の保存活用を進めるため，まず国の史跡として意見具申が可能となるよう，検討会議や専門委員会を開き国指定史跡を目指す。

53	坂出歴史文化講座 (レキブンコウ)	文化振興課	市内にある史跡や遺跡を，歴史・文化・芸術方面にわたって学んでもらう講座を行い，古き良き坂出を知ってもらう。	市内の史跡・寺社の宝物庫の見学。また「古典の日」にちなみ菅原道真の漢詩を学ぶ講座や，芸術の秋として不動の滝でのカメラ講座などを実施。全6回。	A	A	充実 講座内容を様々な分野に広げながら，坂出を知ってもらえる講座としていく。
----	----------------------	-------	---	--	---	---	---

③ スポーツの振興

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	自己評価	委員評価	今後の方向性
54	市内三校高等学校 野球定期戦大会	生涯学習課	青少年たちの持つ無限の可能性と協調の精神を養い、野球スポーツを計画的・継続的に実践し、それによって青少年の健全育成と体力の向上に努める。	市内の高等学校3校（坂出高校・坂出商業高校・坂出工業高校）による硬式野球リーグ戦大会を実施する。	B	B	継続  68回を数える伝統のある大会であり、市内3校の親睦および選手の体力、技術、競技力の向上を目的としており、今後も継続するものとする。
55	スポーツ推進委員 研修	生涯学習課	社会的信望があり、スポーツに対する深い関心と理解を持ち、地域住民のスポーツ活動に対するニーズの高度化・多様化に対してスポーツ振興施策の企画立案に参画するとともに、住民との身近な立場からスポーツ振興施策の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>坂出市生涯スポーツ指導者養成講座 4月21日(日) 6月30日(日) 7月7日(日) 10月27日(日) 12月15日(日) 3月16日(日) (教育会館等)</li> <li>香川県スポーツ推進委員研修 6月9日(日) (香川総合体育館)</li> <li>四国スポーツ推進委員研修 1月25日(土) 26日(日) (愛媛県)</li> <li>全国スポーツ推進委員研修 11月21日(木) 22日(金) (和歌山県)</li> </ul>	A	A	充実  今後も継続的に研修会に参加し、研修で得たものを、地域住民のスポーツと健康づくりの場に提供し、本市のスポーツ振興並びに地域コミュニティの構築を図っていく。
56	坂出市体育協会	生涯学習課	坂出市における生涯スポーツ及びスポーツ文化の発展と活力のある地域社会づくりに努めることを目的とし、市民一人ひとりがスポーツ文化を豊かに享受する「生涯スポーツ社会」の実現を目指すことに資する。	市内29の競技団体と12地区の体育会等への助成とスポーツ競技・レクリエーションの25大会への委託事業によりスポーツ・レクリエーションの普及・振興を目指す。	A	A	充実  加盟団体への助成及び委託を引続き行いながら、今後は、新たな自主事業の計画を実施し、スポーツやレクリエーションの普及・振興並びに健康増進を図っていく。

57	第24回坂出市瀬戸大橋駅伝競走大会	生涯学習課	マラソン王国「坂出」の復活と市民相互の親睦と地域の活性化並びに地区内の親睦と団結を図るため、毎年新春に実施し生涯スポーツの普及・振興に寄与している。	坂出市立体育館から瀬居町までの折り返し、10区間の20.541kmコースを舞台とした地区対抗の駅伝競走大会。	A	A	充実 これまで毎年開催されてきた駅伝競走大会は、スポーツの普及・振興や親睦、交流を図ることはもとより、地域コミュニティの構築や健康増進に大きく寄与してきた。しかし、地域の事情等により、全地区参加とならなかったことから、今後の運営については検討を要する。
58	総合型地域スポーツクラブ設立支援事業	生涯学習課	国のスポーツ振興基本計画に沿った、生涯スポーツ社会の実現を図るため、幅広い世代の人々が、各自の興味関心・競技レベルに合わせて、さまざまなスポーツに触れる機会を提供する総合型地域スポーツクラブの支援を行う。	アウトドアスポーツの「歩く」と、インドアスポーツの「カローリング」を中心とした行事を行っている。五色台クリーンハイキングやカローリング交流大会など。	A	A	充実 今後も、幅広い世代の方々にスポーツに親しむ機会を与え、楽しんでもらうと共に、健康増進を図る。行事を継続するとともに、クラブの自立に向けた支援を維持していく。
59	2013カヌースプリント海外派遣選手第二次選考会 2013カヌースプリントジュニア海外派遣選手第二次選考会（兼）第23回府中湖カヌーレガッタ	生涯学習課	第48回国民体育大会開催を契機として、カヌー競技の普及と振興を図るため、全国から選手を迎え、府中湖において競技大会を開催し、スポーツ文化の高揚につとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1000m競技 男子</li> <li>・500m競技 女子</li> <li>・200m競技 男子 女子</li> <li>・パラカヌー 200m競技 男子 女子</li> <li>・ジュニア種目 1000m男子 500m男子 女子</li> </ul>	A	A	充実 今後も全国大会を継続して開催し、カヌー競技の人口拡大や、競技力向上を図り、合わせて坂出市の観光誘致・にぎわいづくりをおこなう。